

# 経済建設常任委員会

3月9日・10日・11日・18日の4日間、  
陳情6件の審査と所管の事務調査  
及び8か所の現地調査を行いました。

## 若者定住に一役

### 建設課

**大**

山口駅前前の宅地は13区画を造成し、9区画を販売した。平成23年度中には完売見込み。

ナスパルタウンは残り36区画のうち5区画の販売を予定している。販売促進に工夫と努力を求めた。

町営住宅は210戸ほぼ

満室状態で、若い夫婦向けの住宅を検討中。

御来屋団地のポイラー取り換え15台分(525万円)を新年度に予算化している。

一昨年、新規路線になった町道退休寺線は、文化財調査中で着工が遅れている。

## 力を入れる事業

### 農林水産課

**農**

地・水・環境保全向上活動支援交付金(1092万円)は中山間地等直接支払推進事業にも拡大される。

大山エコ農業推進モデル事業(530万円)は昨年引き続き環境に配慮した栽培方法の導入や、少量多品目周年出荷を支援する。しっかり守る農林基盤交付金事業(4210万円)

は部分的な排水条件の改良や用排水施設の修理などに8割補助がある。

大山ブランド開発支援事業(355万円)は、県も支出し、梨・ブルーベリー

の苗木も対象となる。イノシシによる被害が近年多くなった。個体数を減少するため、通年を通じた捕獲助成金の検討を指摘した。

## いつまで持つか

### 水道課

**料**

金統一の話し合いが遅れている開拓専用水道は、送水管の劣化が懸念される。

豊房地区は、断水を防ぐため配水池の整備をする。

また、赤松地区では老朽管の取り換え工事をする。

農業集落、公共下水とも使用料で事業費がまかなえていない。接続率が向上するように指摘した。

## 公社の課題は

### 観光商工課

**観**

光費は平成22年に比べ約2000万円増の1億7115万円。多くの予算を投じるため、効率的な運営とそれに見合う成果を出すよう指摘した。

旧香取分校は「ものづくり学校」と開拓の歴史を展示する香取交流施設にする。索道特別会計は平成23年度から中の原スキー場を(株)

だいせんリゾートに貸し出す会計。利益の30%以上が町に納付される。

大山恵みの里公社の決算は、収益部門に大きく左右される。平成25年12月までに新たな法人に移行する公益法人の今後は、いかに収益確保ができるかが課題となる。平成23年度中に方向性を決定する。

### 現地調査

平成23年3月末開通予定であった大名道路は、盛土工事の

遅れで今秋頃になる。平田漁港改修の護岸工事は終了した。